

『ジャパンインターナショナルボートショー2019』終了

約5万5千人が来場、新企画による家族連れ増加。高額ボートビジネスも堅調

【3月7日(木)～10日(日) / パシフィコ横浜、横浜ベイサイドマリーナ(神奈川県横浜市)】

一般社団法人日本マリン事業協会(会長 柳 弘之)は、2019年3月7日(木)から10日(日)の4日間にわたり、パシフィコ横浜と横浜ベイサイドマリーナ(ともに神奈川県横浜市)を会場として『ジャパンインターナショナルボートショー2019』を開催しました。

58回目となる今回のボートショーは『海・心満たされる時間・・・』をテーマに、230社・団体が出展、2019年ニューモデルなど多種多様なボート、ヨット、水上オートバイ、スモールボート、カヤック等約260隻、海外でも高いシェアを誇るマリンエンジン約60基の展示・販売を中心に、ボート免許やマリーナ等マリンレジャーの最新情報を集約した総合マリンレジャーショーとして開催し、4日間2会場合計で前年比103%、約55,200名の来場者を迎え、閉幕しました。

新企画では、子供連れのご家族で参加いただける「マリンキッズビレッジ」、「親子でマリンコーディネイト・コンテスト」、海の駅などが推薦する味自慢のパン屋さんを集めた「海辺のベーカリー」、午後7時出航で横浜の夜景を楽しむ「ナイトクルーズ」、横浜ベイサイドマリーナ会場での「体験! キャプテンクルージング」等のプログラムを実施しました。

メインステージでは7日の開会式に続いて行った“JMIA マリンアンバサダー”任命式では、柳会長から初代アンバサダーのラグビー選手・五郎丸 歩さんに任命書が渡され、五郎丸さんは挨拶の中で「ラグビーファンをはじめ多くの人たちに、マリンの魅力を伝えるのがアンバサダーの使命と肝に銘じています」と意気込みを語り、ラグビーボールのキックで締めくくりました。

また、STU48メンバーが登場した国土交通省が推進する「C to Sea プロジェクト」のマリンチック街道認定セレモニー、海洋冒険家・白石康次郎氏の「世界一周ヨットレースへの挑戦」、ボートメーカー5社(スズキ、BRP、トヨタ、ヤマハ、ヤンマー)による「平成最後の釣りガール総選挙」ではSNS、来場者投票と審査員得点の総合で晴山由梨さん(ヤマハチーム)が優勝しました。また、初心者からベテランまで楽しめる全18講座をそろえた「海ゼミ」では、定員いっぱいの約900名が参加しました。

水上オートバイ関連の製品、情報を集約したジェットビレッジでは、ウェットスーツや水着コレクションを実施、「オリンピック・パラリンピック応援プロジェクト」と「セーリングビレッジ」との合同企画では、五輪競技艇の展示とオリンピックセーラーによる実技講座、トークショー、小学生対象の工作といった取組も注目を集めていました。

また、プレミアムライフスタイルアベニューでは、ボートや水辺で過ごす時間をより豊かにしてくれるファッション、クルマ、時計等こだわりの厳選ブランドをそろえアピールしました。

横浜ベイサイドマリーナ会場では、販売価格約10億円の豪華クルーザーの特別見学会をはじめ、全長30フィート以上の大型艇53隻を係留展示し、熱心なマリンファン等が、大型フィッシングボートやラグジュアリーなクルージングボートや大型ヨットに乗船見学し、大きな関心を示していました。また、ボート免許が無くても体験操船ができる「船長にチャレンジ」等4つの乗船プログラムを実施し、延約300名が参加しました。

●ご来場者数 55,243名 (2会場・4日間合計)

来場者数 2019 3月	2019年			過去4年の来場者数			
	2会場 合計	内訳		開催日1日目から4日目 2会場合計			
		パシフィコ横浜	横浜ベイサイドマリーナ	2018年	2017年	2016年	2015年
7日(木) 雨	7,479名	5,996名	1,483名	7,209	6,712	7,324	7,258
8日(金) 晴	11,186名	8,004名	3,182名	11,297	11,233	9,605	8,540
9日(土) 晴	19,583名	14,273名	5,310名	16,646	16,406	15,568	12,769
10日(日) 曇	16,995名	12,772名	4,223名	18,268	17,901	17,018	14,532
◆4日間 2会場累計	55,243名	41,045名	14,198名	53,420	52,252	49,515	43,100

◆マリンレジャー関連の出展構成の内訳(カッコ内2018年)

プロダクツ	出展社数	出展製品数
・ボート	34社(32)	99隻(88)
・ヨット	16社(11)	26隻(29)
・PWC(水上オートバイ)	8社(8)	57隻(48)
・スモールボート	10社(4)	38隻(33)
・カヌー、カヤック	2社(4)	42隻(27)
・マリンエンジン	1社(9)	49基(59)
・マリーナ	7社(15)	
・行政・海事団体	17団体(10)	
・海外からの出展	3カ国4社(3・5)	
・マリン関連業種	131社(124)	
230社・団体(222)		

※ボート、ヨット、マリンエンジン等、複数種の製品を展示している出展者があるため、出展者数、出展製品数は差異があります。

◇出展情報 ※(*Personal Water Craft=水上オートバイ)

項目			データ	プロダクツ名など	出展社など
ボート	サイズ	最大	全長 22.44m	SUN ROYAR 73eMPRESS	国際クルーズ
		最小	全長 2.03m	MUG205	ジョイクラフト
	価格	最高	(約)5億円	AMIMUT S7	シーブリーズボートサービス
		最下	115,000円	TRM270	ジョイクラフト
エンジン	馬力	最大	670馬力	VOLVO PENTA D-11	ミズノマリン
		最小	2馬力(1.5Kw)	4社(スズキ、トーハツ、ホンダ、ヤマハ)	

●パシフィコ横浜(展示ホール A・B・C・D)

			
3月7日開会式	JMIA マリンアンバサダーに就任した五郎丸 歩氏を囲んで		パシフィコ横浜会場
			
セーリングビレッジでは、オリンピックによる実践指導も	家族を対象のプログラムは人気を集めました		
	週末限定プログラム海賊王には約 200 名が参加	親子マリンコーディネイト・コンテストのファイナルには親子 8 組が登場	マリンキッズビレッジでは、いつも満席

●横浜ベイサイドマリーナ

			
横浜ベイサイドマリーナには大型艇 53 隻を係留展示		約 10 億円クルーザーの特別見学も人気	体験プログラムは予約で満杯に

ジャパンインターナショナルボートショー2020 は
3月5日(木)から8日(日)までの4日間に
パシフィコ横浜と横浜ベイサイドマリーナの2会場にて開催します。

一般社団法人 日本マリン事業協会

■東京都中央区八重洲二丁目10番12号 国際興業第2ビル4階
■TEL:03-5542-1201 ■FAX:03-5542-1206